

刊日九月一



定価 一部全紙一ヶ月五拾五圓 郵税五圓
 廣告料五圓十二場 行金五拾五圓
 日曜祭日の翌日休刊
 發行所 常磐 毎日新聞社
 電話 六三〇〇
 印刷所 常磐 毎日印刷株式會社

輪廻の妙味

平自警會霜月寮
白土 五郎

昨夜からの雪は鐵窓のガラスを埋め、白壁の氷はノコギリの齒のやうに光る。火の氣のない獨房は氷の磁石が備いてあるかのやうに肉體の温かみは吸ひつけられて發散する手足耳はシモヤケで赤く腫れ上り、肉はただれて血筋は流れ出る。あゝ正月が来て、何時しか月日は流れて今日になつた、獨房の正月は底ぬれの哀調の中にむく／＼と動くものがある。これは出獄の時が近かづいたと云ふ希望と喜びである。

私は牢獄で佛敎書を亂讀して、轉廻と云ふことに引きつけられた。正月、年末春夏秋冬は今初まつたことではないがこの春夏秋冬に引きつけられて廻つてゐるのが人間の一生だ。佛敎はすべてを輪廻觀で見やうとする、だがこの輪廻は只だ廻るのではなくしてこゝに進化を認める。敎でいふ輪廻は意義あることである。

彼等はいふ、萬物輪廻せざるものはない、この輪廻を味解しないから、こゝに幾多の精神的悩みがある、即ち生れる、成長する、壯年になり老人となる、終り

に死滅する。親は子を生み子は孫を生む、一年について見るならば、春夏秋冬と繰返される、朝があれば晩がある、晩があれば朝がある。生があるから死がある。佛敎では一呼吸のうちに生死を觀する。かく觀すると正月と云ひ、年末と云ふも出入の息を大にしたものに外ならない。冬の悲しみがなければ春の喜びもない。春を喜び冬を悲しむのは輪廻

常磐文藝

秘語 竹林 俊枝

小夜ふけて 眞日き小徑 來は來たか あふぎて見れば ひとすじに ひろき銀河の かなしさよ

われひとり 秘めおかんには あまり苦し 秘語なれば そとうち語り ひろき銀河の 夜の空に

【朝】味噌汁——大和芋 小付 味噌漬おろしあへ

【晝】ひじきと油揚とするめの煮付

【晚】南瓜のスープ 鮭フラ イ 柚子酢かけ 人參の煮付

を味解せず輪廻に嘲弄されることである。だがこれは少數の修養を積んだ人の外は大低輪廻に嘲弄されてゐるのだ。

支那の寒山であつたか捨て得であつたか

快哉 快哉 三界輪廻
快哉 快哉 三界輪廻
と叫んださうだが味合ふべきことだ。

看護婦急派

求めに應じます

平町・南町
平看護婦會
電話三〇七

安齊外科醫院

平町・田町
電話四七五番

時代の要求

皆様の足? 足
 尾子タクシーへも豆タクが入りました
 御立關から立關へ 迅速簡便
 是非御利用を
 市内 三〇錢
 市外 四割引

流線型セダン 大型貸切バス

宮行——直通は二丁目尾子自動車部より發車いたします

平町二丁目
尾子自動車商會
電話六四〇番

開院

五十嵐産科醫院

平町新川町一
醫學博士五十嵐雄二
電話三七〇番
(入院應需)

耳鼻咽喉科専門

鈴木醫院

醫學士 鈴木 正男
平町田町 (電話五八番)
藤田女學校前
自炊のお需めに應ず
入院の便あり

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
 平町田町 電話五一三番
 内科小兒科 外科花柳病科
 耳鼻咽喉科 レントゲン科



レストラン 平 恩 韻

診 夜 間

腸胃性病性 専門

内科 胃腸病科
花柳病科
性病科
皮膚科

松村 胃腸性病性 醫院
(番七〇一町南町平)

郡南方面に

好景氣再來

昭和人絹の恩恵

新築家屋が續々立つ

植田町は昭和人絹工場の發展から歐洲大戰當時其儘の好況振りを再現して大工左官の賃銀は二圓五十錢に値上されても求めに應じきれず植田町や錦村に毎月二十戸近い家屋が續々新築され殊に錦村では小作農から労働者に轉ずる者多く同工場が毎月支拂ふ賃金は七萬圓に達する由

廿年來の紛糾解決

平窪村有林

平窪村の村有林二百町歩分割問題は三部落に分れ廿年來紛糾を續けて來たが今回部落會で同村有林は共同植林とする事に圓滿解決した

縣下一を誇る

磐女の講堂

本月末に竣工

櫻ヶ丘臺上に一異彩

竣工後に縣下一を誇る磐城高等女學校講堂は其後縣營繕課伊藤技手の指揮により休暇中も引續き工事を急いでゐたが既に櫻ヶ丘の一異彩として堂々たるニールネッサンス式の建物が八分通り完成し今後の氣温が壁の乾燥に甚しい影響を與へない限り本月末までには完成の見込で二月上旬中に落成式舉行の豫定であると、尚講堂開きは花の四月に東都の名歌手を招き盛大に行れる筈

小作調停

委員任命

昭和十一年度の石城郡下の小作調停委員は左の卅八氏が任命された

- (平町)青沼鋒太郎 小野榮一(飯野)伊藤淺之助
- (夏井)青木勇次郎 木田淺次郎 渡邊左重(高久)
- 本馬武(豊間)馬目仙十郎
- (磐崎)御代武兵衛(好間)
- 大平新吉(赤井)松本金治
- (三坂)大竹治右衛門(植

田)古川傳一(勿察)大平陸四郎(川部)小野魯平(草野)高木誠一(大野)小野善太郎(下小川)大森又重(錦)志賀傳造(神谷)志賀庄三郎(川前)佐久間留藏(泉)古口浦之助(永戸)阿部佐平(箕輪)阿部友睦(入遠野)上遠野文八(鹿島)荒川忠治(渡邊)大平彌市郎 澤田正海(四倉)鈴木克哉 花澤賢有 新妻盛(大浦)高崎兼次郎

童心から

選舉に呼び掛く

各小學校の肅正濃度

第二次選舉肅正運動實施に呼應する平町各小學校は近く校長協議會を開き具體的方策の打合を行ふ筈であるが今回の企ては一層濃度を加へ綴方作品の各家庭回覽する外投票日當日は被選舉人控室其他に圖書や書方を陳列して童心により肅正運動の徹底を圖ることとなつた

林野保護

組合長會

石城林野保護組合長會は十四日午前十時より平署會議室に開き組合總會の開催期日決定並に優良組合員の表彰等を協議する

純眞な人達に

一席の體驗談

郡下の職業男女を

詮衡して出席さす

縣學務部主催の第四回石城産業青年座談會は二月上旬平町に開催されるが本年は各町村から男女各一名宛の職業人を詮衡ししめしめ張のない體驗談を語らせる

第二校の行事

平第二小學校今月の行事は左の通り決定した(九日)職員會(十日)級長

受檢米の

高値が徹底

既報平穀物検査所管内の新米出廻りは例年より十日遅れた爲め最近に至つて一時に新米の受檢米が殺倒し現存米支所では一日に平均千五百俵、勿來四倉兩出張所は七百俵近く検査して居るが検査米の相場高が一般に徹底した爲め本年度受檢米は昨年の六萬五千俵より二萬五千俵増加して九萬俵前後を豫想されて居る

夏井郷倉入穀

夏井村農會が昨年七百圓の工費で同村役場前に起工した郷倉は今回竣工、今九日午前十時から盛大な入穀式を舉げた

漁港擴張

縣技師が測量

總工費五十萬圓、國庫補助廿餘萬圓で昭和十一年度より五ヶ年計畫の築港擴張工事が大藏省を通過した江名漁港は昨八日縣土木課原技手が來郡、直に向ふ廿日間の豫定で測量を開始した

石炭効率

機關庫で試験

平機關庫は來る十一日から

十六日迄と十八日から廿三日の兩回に亘つて湯本高萩の區間に機關車の石炭効率試験を行ふ

平町人事

出生

- △新川町二四當時東京市澁谷區穩田二丁目一七佐藤善治氏四男英雄さん
- △三丁目七當時東京市葛飾區堀切町八五〇加藤虎之助氏二男庄平
- △久保町四當時好間村大字

死亡

- △上好間鈴木菊之助氏三女和枝さん
- △仲町一當時東京市葛飾區下小松町三六二吉田サダさん(二九)
- △播磨小路二九當時宮城縣本吉郡志津川町字明五三岡部ハツさん(八一)
- △梅香町一七當時千葉縣市川市大字市川一七八七只野直子さん(二ツ)
- △新川町三當時東京市本郷區駒込千駄ヶ木町二〇〇佐藤源作(六〇)

貴方の御家庭に

お手不足は御座いませんか

本會を御利用下さい

直に家政婦を派出します

親切 料金は極め低廉で

妊産婦の御家庭 お留守居番 御病人の付添 年寄やお子さんの付添 炊事や雑用

派出多忙に付會員至急募集

平町紺屋町二(電話二二二番)

上原家政婦會

會主 産婆 上原通子

喜多流謠曲と仕舞の

稽古をお奨め致します

平町田町六九

喜多流 白土會

電話二二七番

異風景

氷上に描く 鮮かな曲線

▽ 襲來した寒さに
▽ 張り詰めた池氷
現出してゐる

スキー其他比較的ウインタースポーツに恵まれた平地方も小寒に入つて水銀柱が引續き氷点以下に凍りつく厳寒襲來し松ヶ岡公園の辨天池をはじめ女學校前の通稱櫻堀の氷が最も厚く張り詰めたので待望のスケータ―が我世の春とばかり水上に曲線を描いて滑走しこの地方には珍らしい界風景を

頭痛を装て

二百餘圓を盗む

同僚が稼ぎに出た後から

四倉町字仲町錫精製造業永山仙十氏方雇人山形縣生れ齊藤勝見(三)は昨日合宿中の同僚十四、五名の着物や時計、貯金通帳、現金等合計二百餘圓を窃取逃走した。同人は昨日頭痛がするとして仕事を休み同僚の留守の間に盗んで逃走した。

小切手に乗つて

亭主がドロン!

額面五百圓を振り廻し

各所に豪遊

双葉郡浪江町驛前ガフエー大万次郎假名は去る六日額面五百圓の小切手を所持し

て家出捜査中の處七日夜平町三丁目ガフエー米久方に來たり豪遊の末同家の女給

二人を連れて小名濱にドライブと洒落た揚句昨八日夜女給丈けを歸して行方不明となつた由にて同夜九時頃次郎の妻テルが平署に青くなつて夫を探して下さいと願ひ出た

今度の感冒

悪性でない

蔓延甚しい

新春早々急激な天候の變化から更に乾燥氣流に見舞はれて流行性感冒は全郡下に猖獗しその罹病者も相當數に達して今次流行の感冒はその性質悪性ではなく八日現在では幸にも死亡者は一人名もないけど平署では管内駐在所に罹病者數及びその症狀等の調査方を命じ豫防に當ることになつた、右につき某醫師は語る

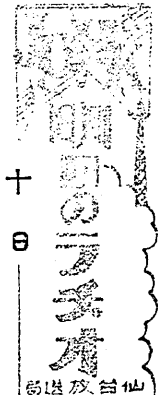
乳兒の死因が?

平署關係者を取調ぶ

箕輪村宇野遠藤芳江方雇人姪出やい(一)假名は一昨年十一月中未知の男に暴行され妊娠、昨年八月十六日女兒を分娩したが處置に窮し雇主の遠藤と相談の上隣村好間村佐久間こづる(五)を通じて附近の瀬野儀喜(三)妻しま(三)の兩名に乳兒を呉れたが子供は間もなく死亡した事判明、死因に不審をいだいた平署は七日關係者を召喚取調べた

草野村の唧筒

既報 草野村消防組が昨年三千圓を投じて福島製作所に注文



今晩の部
後六、〇〇 子供の時間
お話し「やさしい風の作り方」關猛
後六、二五 農村經營の成功談「桑名郡農産物加工場について」水谷榮
後七、三〇 講演「世界の

今晩の部
後八、〇〇 義太夫さばり
夕の「奥州安達原」竹本越駒「白石断」豊竹儀昇「生寫朝顔話」竹本儀昇
後九、〇〇 連続講談「吉良」仁吉「神田ろ山」後九、三〇 時報「ニュース」氣象通報 番組豫告
られ今九日平署に押送され

一人娘は何處に

老人夫婦から搜索願

赤井村大字赤井字不動堂居住佐久間爲吉(七)さんの老妻ヤス(七)さんは本九日午前中平署人事相談所を訪れ一人娘の居所を捜して下さいと願ひ出た

義 高橋恒壽(四)馬目英一 古川勝彦(五)一 黒澤範雅 清水俊政(五)二 鈴木満男 藤田文明(五)三 岡田孝平 武田邦彦(六)一 三井眞一 鶴沼功(六)二 渡邊弘道 小山田俊夫(六)三 飯島登司 諸橋英二(高)一 鈴木芳男 伊藤俊夫(一)二 多田井鶴雄 松崎文吉(二)一 柴澤松榮 柴田健治(二)二 江原正太郎 東條正一

平第一校

平第一小學校

は今日九日朝禮の際左記第三學期正副校長の任命式を行つた

正副校長 小學校
正 佐川英一 小齋幹夫(三)二 鈴木啓吉
中澤涉(三)三 田代浩康
吉田勤(四)一 川崎繼男
安藤信(四)二 鈴木仁
關内正雄(四)三 吉成方

前借を踏んで

作つた愛の巢

平町新田町の藝妓屋林屋方抱へ藝妓照千代(三)は昨年八月頃三丁目の洋服店主林一郎(三)と馴染を重ねた末前借千圓を踏倒し男と手をとるとり合つて行衛を晦して了つたが平署で各地に手配した結果昨日兩名は神奈川縣川崎市で愛の巢を営んで居る處を川崎署員に取押へ

伊藤巡官の死

訃報

殉職を傳へられた赤井村縣會議員草野三郎氏養子元本縣特高課勤務巡查部長、現滿洲國巡官伊藤辰雄氏は匪賊の兇刃にたをれたる事は誤報と判明、舊臘來治安工作に東邊道方面に出動中發疹チブスに罹り七日午前零時卅五分死去した由で葬儀

ラデオアンビおうたすくろくオアンビクラブ
後六、二六 農村經濟の成功談「我が村更生の歩み」溝部求治廣島
後七、三〇 講演「日本經濟界の現状と將來」藤原銀次郎
後八、〇〇 講山 東北島田美恵
後八、二〇 連續講談「吉良」仁吉「終神田ろ山」後八、五〇 歌謡物語「道化師」夏川静江他
は安東で執行される

平裁判たより

△石城郡好間村大字北好間字三木平四十一乗廻夫桑原正芳(九)は去る十月十日午前一時三十分頃萩原炭礦排水坑内に入坑中坑口より四十一間入りたる個所に落聲あり炭車二輛脱線し回復作業中不注意から連結ビンが外れ先頭の一函は十五度の傾斜を滑走し作業中の坑夫佐藤健喜(七)に衝突し腹部打撲内臓出血により死亡せしめ業務上過失致死罪、略式罰金六十圓に處された

藤沼醫院

平町・紺屋町
電話五〇七番

井坂醫院

平町 田町
電話五五九番

